

えがお
めいげん・かくげん
笑顔の名言・格言



笑顔と真剣な顔が、

人間の一番素敵なお顔

野村 克也



かんきょう かんが
環境について考えよう

かんきょう 環境ウィーク トライ&アクション

「環境ウィーク トライ&アクション」として、特別号の学校だよりでもお伝えしたように、5月30日(金)に環境学習を行いました。環境に対しての意識を高めることがねらいです。「身近なことから考えよう~未来の地球と私たち~」をテーマに、私たちの生活と環境とのつながりを見つめ直す学習に取り組んだ学年や、食品ロスの問題をテーマに、すごろくを通して、食品ロスを減らすための方法を考え、「もったいない」という気持ちを大切にすることを学ぶ学年がありました。様々な工夫を凝らして、『笑顔』で学び、環境に対する意識を高めることができました。



上: 見つめ直す学習の様子

下: すごろく活動の様子

そな うれ
備えあれば憂い無し

ひなんくんれん
避難訓練

5月23日(金)に今年度初めての避難訓練を行いました。北館ランチ調理室付近から火災が発生したと想定して、生徒は活動場所からの避難や避難場所での集合・点呼集約の訓練を行いました。各学年とも協力しながら静かに素早く移動し、整列時には、校長先生や係の先生から「命を守るための大切な行動」についての話を真剣に聞く様子が伺えました。



あき りっぱ みの
秋には立派に実りますように PTA園芸活動

5月27日(火)に、PTAの役員・委員の皆様でサツマイモの苗を花壇に植える予定でしたが、天候不良のため、後日、学校職員で植えました。収穫時期は10月頃の予定です。順調に育ってくれることを願っています。



今年度も生徒が美しい環境の中、皆さんが『笑顔』で学校生活を送ることができるようPTAの方々にご協力をいただきながら、校内の花壇整備に努めていきたいと思っております。

ねんせい こうがいがくしゅう でか なかま はじ おも へ
1年生が校外学習に出掛け、仲間と初めての思い出を「つむぎ」ました



5月13日(火)に春日井市少年自然の家へ行き、カレー作りと学年レクリエーションを実施してきました。普段の学校生活では体験することができない活動を通して、みんなで協力して取り組むことの大切さを学びながら、一つ一つの活動の中で、仲間



との初めての「つむぎ」を感じることができました。今後の学校生活で、さらにお互いの理解を深め、『笑顔』で過ごせるようにしていきましょう!

せい と しゅう かい
生徒集会にて

5月7日(水)の生徒集会にて、生徒会執行部が全校生徒の前に立ち、二つの事柄を告知しました。

一つ目は、「生徒会スローガン」についてです。生徒会は、今年度のスローガンを『虹 ~ 紡いでゆく輝く個性(なないろ) ~』としました。

「虹」には3学年の学年目標「つむぎ」「きらきら」「いろいろ」を象徴するものという思いが込められています。副題には、「少しずつ

系を紡いで一つの大きなものを作り上げていくように、友だちや先生たちとの「たてとよこのつながり」や、一人ひとりがもっている輝く「なないろ」の個性を大切にしながら、みんなですばらしい

白山中学校を作っていこう」という思いが込められています。生徒会執行部の熱い思いを受け止め、皆さんでよりよい学校生活を作り上げていきましょう!

二つ目に、「緑の募金」活動の説明がありました。毎年この時期に実施されている活動で、生徒会執行部が、募金はどうに使えるのかを交えて、活動への協力を呼び掛けました。全学年の生徒

がしっかりと話に耳を傾け、時折『笑顔』が見られる場面もありました。緑の募金についてより深く理解できた心温まる告知でした。

緑の募金についてより深く理解できた心温まる告知でした。



募金の使われ方を交えて、全校生徒に募金をPRする生徒会執行部

しんりん 森を
森林を守り育てるために

みどり ぼきん かつどう
「緑の募金」活動

森林は水を育み、山崩れを防ぎ、また、二酸化炭素の吸収源として、地球温暖化の防止に役立っています。直接、感じづらいことかもしれませんが、私たちの暮らしの安心と安全を支える大切な存在であることは言うまでもありません。

私たちに様々な恩恵を与えてくれる森林や緑を豊かにするために、生徒会執行部が朝、門に立って『緑の募金』活動に、5月13日・14日・15日の三日間で取り組みました。その結果、合計3,673円の募金が集まりました。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。



募金箱を持つ生徒会執行部のまわりに、たくさんの生徒が駆け寄って募金をしていました。

環境について考えよう

5月30日「環境学習」に取り組みます!!



来月6月5日は「世界環境デー」です。

日本でも、6月の一ヶ月間を「環境月間」として、全国各地で様々な取組がされています。名古屋市でも、毎年、「環境デーなごや」として様々な取組がされたり、5月下旬から6月上旬の2週間を「環境学習ウィーク」と位置づけられたりしています。

現在、大阪市内で行われている「大阪・関西万博」でも、環境について様々な取組が行われています。環境省のHPに載っている施策の一部を紹介します。

○ 日本のEVバスの技術・ノウハウの発信

モビリティの脱炭素化に向けた国際的なモメンタム醸成に貢献すべく、会場内外周バスや会場アクセスバスにおいて、日本の優れたEVバスを積極的に活用し、世界への技術・ノウハウの発信を行う。

○ 再エネ水素を使ったメタネーション実証

太陽光、風力などの再エネを活用した水素と生ゴミを発酵させて製造したバイオガスからメタネーションし、製造された合成メタンを配管を通じて輸送し、万博会場内の都市ガス消費機器で利用する実証を行う。

○ サーキュラーエコノミー及び大阪ブルー・オーシャン・ビジョンの実現

大量生産・大量消費・大量廃棄型の一方通行型の経済社会活動（線形経済）から、持続可能な形で資源を利用する循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行を実現する。あわせて、プラスチックの流出を防止し新たな汚染につながらない「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」を実現した社会像を効果的に発信する。

○ サステナドーム“ジュニアSDGsキャンプ”における次世代への継承プログラム

持続可能な開発のための教育（Education for Sustainable Development:ESD）の推進のため、子ども、若者向けESD施設「サステナドーム」において、環境問題、SDGs全体について子ども・若者が考え、国際交流しつつアウトプットする場、学びの場を提供する。

○ 環境省によるバーチャル万博での展示

大阪・関西万博のバーチャル会場プラットフォーム上でのバーチャルパビリオンに、環境省出展として、第六次環境基本計画で示す社会像等のコンセプト及び我が国における環境保全の取組等を国内外に向けて効果的に発信することで、環境保全に対する理解促進と行動変容を促進させる。

「かけがえのない地球」を守るために、自分は何ができるのか？ 一人一人が真剣に考え、自分に可能な行動を実践してみることが大切だと思います。どんな小さなことでも継続していくことが、やがて必ず大きなうねりとなり、変化を起こすはずですよ。

30日の「環境学習」や、来月の「環境学習ウィーク」、「世界環境デー」等を、自ら一歩を踏み出す一つのきっかけとしてもらえたらと思います。